



(第5期) 第4回まつもと子ども未来委員会の報告

令和元年6月24日

第5期の第3回まつもと子ども未来委員会を、令和元年6月16日(日)あがたの森文化会館で行いました。この日は、31人の委員のうち、18人の委員、5人のサポーターが出席しました。

1 活動1について

活動1(松本市が今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えを市へ提言する。)の学習として、前回の第3回委員会で行った、市役所新庁舎建設事業、新博物館建設事業、受動喫煙防止対策事業の三つの事業について、市役所の担当職員から説明を受け、印象に残っていることなどについて、ふりかえりました。



●○ みんなからの意見(抜粋) ○●

- 1 新市役所建設事業
どんな世代の人にも使いやすくする。
市役所が古い建物だということに驚いた。
共に時を刻む庁舎 共に生きるのは素晴らしいことだと思う。
コミュニケーションが芽生える庁舎(先進的な取り組みで面白い)
松本城の近くに建てることに賛成
- 2 新博物館建設事業
個人向けアプリ(チケットの販売等)
姉妹都市の紹介
また行きたくなるような博物館に。
松本は自然が多いのでそれを展示する。
子どもの事も考えているのが良い。
- 3 受動喫煙防止対策事業
キャラクターを用いたポスターは、どんな人も見てくれる。
未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、煙は吸ってもいいのか。
喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
タバコは吸っている人だけではなく周りの人に害を及ぼすことに驚いた。

次に、みんなの意見を聞いてみて、新たな考えや、新しく気が付いたことを話し合い、各班から話し合った内容を発表しました。



●○ みんなからの意見（抜粋） ○●

1 市役所新庁舎建設事業

ユニバーサルデザインがあれば、みんなが使えるからいい。

市役所を紹介するコーナーを作ると良いと思う。

市役所は、真面目や堅苦しいイメージしかないから、自由な多目的スペースをつかって交流したり、市役所についても知ってもらおう。

2 新博物館建設事業

他の博物館から展示物を借りて、季節によって観るものが変わると大勢人が来るのでは。

松本らしさを出していくとリピーターが増えると思う。

スタンプラリーとか記念品とか増やして呼び込む。

松本城を観た後に、博物館へ行こう。（外国人ターゲット）

3 受動喫煙防止対策事業

みんなの意見を聞くことが大切

キャラクターを使うとそれがきっかけで、小さい子どもたちがタバコの存在を知ってしまうから、キャラクターは使わない方が良いと思う。

大人から子供までみんなの意見を聞いてまとめる。

3つの事業について、話し合い、自分がどの事業について学習し、^{ていげん}提言していくのか各自が考えて決めました。



2 活動2について

次に活動2（第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合っ、市に^{ていげん}提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で^{じっさい}実際に活動し、市へ報告する。）について、具体的に自分が何の活動をしたいのか考え、みんなで話し合いました。

●○ みんなからの意見（^{ぼつすい}抜粋） ○●

【チラシを作って配る】

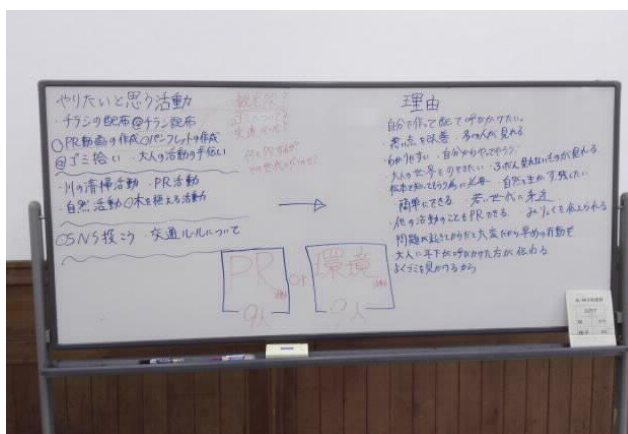
- 自分で作って配って呼びかけたい。
- コミュニケーションの勉強にもなる。
- チラシを作ることで自分でも悪いところを^{かいぜん}改善したい。

【PR活動】

- 自分たちが松本についてよく考えられるから。
- 松本の自然を^{さいだいげんい}最大限生かしてPRしたいから。
- 自分も松本のことをさらに知ることができるから。

【ゴミ拾い、川の清掃活動】

- ゴミ拾いをしている人が少ないと思うから。
- 活動を通して普段見られないものを見られるから。



活動2の取り組みについて、皆で意見を出し合い、話し合いの結果、PR活動と環境活動の2つについて取り組むこととし、自分がどの活動をしていくのか決めました。

次回の委員会は、7月7日（日）にあがたの森文化会館で行います。